

あなたは幸せですか？

校長 上橋 秀司

暖かかった今年の秋でしたが、先週は木枯らしが随分と身にしみました。冬の足音が少しずつ聞こえてきました。先月12日、たくさんの方々に見守られる中、子どもたちは力いっぱい
の合唱・合奏を披露し、感動の音楽会を実施することができました。ありがとうございました。
また、保護者の方よりたくさん心温まる感想、貴重な意見を寄せていただきました。教職員
一同、しっかりと胸に刻み、次年度への励みとさせていただきます。

先日、ブータンからワンチュク国王夫妻が来日されました。いつも微笑みを絶やさないその
姿と国会での演説の言葉は、復興から立ち上がりつつある日本に勇気と希望を与えてくれたの
ではないでしょうか。また、国民総幸福を目指すブータンの国づくりを知り、改めて、人にと
っての幸せとは何だろうかと考えさせられました。そして、あなたは幸せですか？と問いかけ
られたような気持ちになりました。

スイスの心理学者カール・ユングは、幸福の条件として次の5つを挙げています。どれも当
たり前のことですが、実に大切なことです。中でも、三番目と四番目については、人によって
様々なとらえ方ができるのではないのでしょうか。

- 1 心身とも健康であること
- 2 ほどよいと思えるお金を持っていること
- 3 美しいことに感動できること
- 4 豊かな人間関係があること
- 5 朝起きたら、やるべき仕事があること。

修学旅行で訪れた宮島もみじ谷の真っ赤に染まった紅葉を見ると、誰もがその美しさに心ひ
かれます。しかし、普段のくらしの中で目にする夕日や青空、空き地に咲く一輪の花などに目
がとまり感動できる心を持ちたいと思っています。また、豊かな人間関係を築いていくために、
目と目を合わせて「おはようございます」「さようなら」「どうぞ」「ありがとう」などのあいさ
つが自然とできるようになりたいと思います。言葉に込められた寛容の心、感謝の心は、人と
仲良くしていく重要な能力と言うことができるでしょう。大人がこのような心を大切に毎日
を過ごすことで、心豊かな子どもたちが育っていくのだと思います。

今年は、12月4日から10日までが人権週間となります。人権を考えるということは、幸
せとは何かということを考えることかもしれません。若宮小学校に通う子どもたち一人一人が、
「幸せだよ。」と答えることのできる学校を目指し、力を合わせて全力で取組んでいきます。

早いものでもう師走。人権ということ子どもたちと共に考えるとともに、2学期のまとめ
を、そして、2011年の締めくくりをしていきたいと思っています。

今月もご支援、ご協力をお願いいたします。